

いもち病防除の定番ルーチンと、
紋枯病防除剤エバーゴル(有効成分ペンフルフェン)配合

水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤

エバーゴル® プラス **+** 箱粒剤



いもち病



紋枯病



白葉枯病



イネドロオウムシ



イネミズゾウムシ



ウンカ類
(セシロウカ)



ツマグロヨコバイ



ニカメイチュウ



コブノメイガ



イネツトムシ



フタオビコヤガ





- 成分:イソチアニル…2.0% ペンフルフェン…2.0% イミダクロプリド…2.0% クロラントラニプロール…0.75%
 ●毒性:普通物(「毒物および劇物取締法」にもつく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称) 殺虫剤分類4A,2B 殺菌剤分類P3,7

適用病害虫および使用方法

(2021年10月現在)

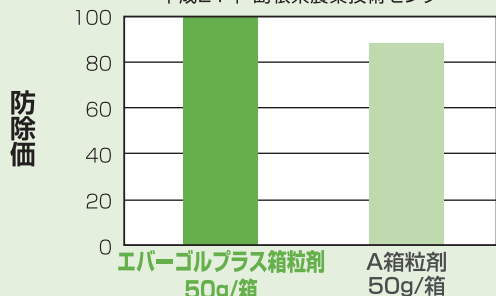
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病、内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前)～移植当日	本剤:1回 イミダクロプリド:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布は2回以内)	育苗箱の 上から均一に 散布する。
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病		移植当日		
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ、イネツトムシ フタオビコヤガ、いもち病 紋枯病		は種時(覆土前)～移植当日		
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 白葉枯病、内穎褐変病	高密度に、は種する場合 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g	移植3日前～移植当日	イソチアニル:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	育苗箱の床土又は 覆土に均一に 混和する。
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) もみ枯細菌病		移植当日	ペンフルフェン:1回	育苗箱の 上から均一に 散布する。

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

紋枯病に対する防除効果

播種時覆土前

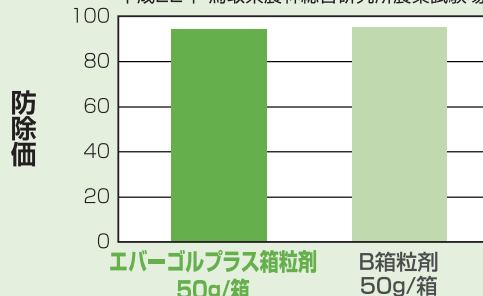
平成21年 島根県農業技術センター



品種:コシヒカリ 発生状況:中発生(接種) 移植:6月8日
 処理:播種時覆土前(5月18日)/対照剤は移植当日(6月8日)
 調査:9月14日 接種:7月28日

移植当日

平成22年 鳥取県農林総合研究所農業試験場



品種:コシヒカリ 発生状況:中発生(接種)
 移植:5月25日 処理:5月25日 調査:9月7日
 接種:6月10日

注意事項

- 床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけて下さい。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすので、移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。●防除日誌を記載しましょう。

2174(22-10)

